

令和6年6月3日

先日のニュースで、全国の落とし物についてやってみました。昨年1年間で 2,979 万点の落とし物があったと。過去最高ということですのですごい数だなと思うのですが、自分にも身に覚えがないわけではないのでそういうものかなと。

ただ、落とし物の内容として、ワイヤレスイヤホンだったり、持ち歩き型の小型ファンだったり、携帯タバコだったり、手から離れてしまうと置き忘れてりする小型のものが増えたということで、これも時代を感じますね。

もっと驚いたのが、現金の落とし物ですね。総額 228 億円だそうです。落とすといっても、1 億円や 2 億円をドカンと落とすことはないわけで、1 回当たり数千円から数万円といったところでしょうから、何万件とあったのでしょう。積もり積もってそんな大きな金額になる。塵も積もれば山となる、いわゆるチリツモの状態なんでしょうね。

チリツモといえばそうそう、私が本社の朝礼で毎月お話しするようになって、今回でまる 10 年なんですよね。10 年ですから、120 回話してきたことになります。1 回当たり 3 分は話しますから、少なくとも 360 分は話してきたことになりますね。まさにチリツモ、これは私にとっては自身の成長につながるので大きな財産です。

致知の感想文もそうですね。木鶏会をやりはじめた頃、2010 年 7 月から毎月感想文を書いていますので、かれこれ 14 年、A4 の紙を約 170 枚書き上げてきたことになります。これはここにおられる皆さんの中にも同じように 170 枚書いてきた方が多数おられます。170 枚ってすごいですよ。それだけ人間力を培ってきたのだと、これまた財産であり自信になります。

私は物事を継続してやるのが苦手な方なのですが、この朝礼と感想文の2つが継続されているというのは大きな自信になっています。こういう継続されているものはこれからも大事にしていきたいと思えます。

以上

代表取締役社長 角高哲治